

飯山の「塩の道」と秋山郷の「御宝木」の 植生と生態の観察会に参加して

岩見啓子（飯山市野坂田 837-13）

平成12年6月25日・26日に信州北の玄関口、飯山と秘境秋山郷の御宝木を散策・観察・探訪しました。

11月から5月の7ヶ月に渡る冬の暮らしの中にある山々、そして春を待ち焦がれて咲きほころぶ、ふきのとう・福寿草・桜・菜の花・水芭蕉など、四季がはっきりしている飯山では四季折々の中に見る自然の美しさです。

参加者は（敬称略）、和田清・小口好久・宮田吉彦・佐藤利幸・小山邦武・小山光代・木原克己・木原とみ子・木原千栄子・丸山とも美・大平仁一・大平ユリ・高橋勤・青木邦夫・岩見和文・岩見啓子の16名でした。

鍋倉高原の「森の家」に集合し、顔合わせ・スケジュール等の説明を受け、宇津ノ俣峠へと向かいました。あいにくの雨の中、木々の合間を抜け一列になって進みましたが、自然の恵みの雨の中で木々草花の色取りが鮮やかに輝いて気持ちもゆったりしました。

ここは、標高700メートルぐらいで、チゴユリ・ヒメヤシヤクシ・ヤグルマソウ・クルマバハグマ・ツクバネソウ・コシアブラ・オオバクロモジ・タムシバ・ササユリ・コシノカンアオイ・ヤマブキショウマ・ガマズミ・タイリンヤマハッカ・シラネアオイ・オオカメノキ・ショウジョウバカマ・オオバキボシ・ユキツバキ・スミレサイシン等次々に観察しましたが、シラネアオイやササユリ等の抜かれた跡があり、年々少なくなっている現状やシラネアオイは3年たないと花が咲かな

い事などを思うと残念に思いました。コシノカンアオイは、根元に紫色の花をつけており、ギフチョウがこの葉を食べることや葉の裏に瑠璃色の卵を産む話など聞き感激しました。雨が降っていることなどいつのまにか忘れ皆様の目にも輝きが増し夢中で観察しました。

栄村、北野温泉に宿をとり、夕食時や食後も皆一部屋に集まり話に酔いしれ親睦を深めました。

翌朝雨は上がり、秋山郷御宝木へと伺いました。大平さんもこのような沢を上がったり下がったりの険しい場所はめったにないのだけれど・・・と言われていました。足元の悪い中、皆さんの足取りは青年のように軽く何があるのだろうか？という期待感などで目が輝いていて私も引き込まれました。御宝木は、標高800メートルぐらいで、ヤグルマソウ・シラネアオイ・シシガシラ・コシアブラ・ウラジロヨウラク・ダイモンジソウ・オオイワカガミ・イワウチワ・ショウジョウバカマ・イチヤクソウ・ギボシ・ヤグルマソウ・サラシナショウマ・などが見られ、イワウチワはピンク色の可憐な花が咲くというので花を見たいと思いました。期待をしていたアズマシヤクナゲは見ることができませんでした。地元の民家で頂いた山菜料理づくしに満足し帰路につきました。

入会して初めての参加で皆様のようにいろいろな知識もなくとてもはずかしく報告書という形にもならず申し訳ございません。山の

奥でしっかり育ちつつある、そして年々減少している植物が心無い方たちによって抜かれていってしまうことをとても残念に思いました。私のように何も解らない者がお誘い頂いて参加し興味を持って楽しく木々草花を見れたことをとても嬉しく思うと共に初めてでも

宇津ノ俣峠路入口（標高約 700m）

チゴユリ、ヒメウスノキ、アクシバ、シオデ、コシアブラ、ハイイヌツゲ、ハナヒリノキ、リョウブ、アマドコロ、マルバマンサク、ユキグニミツバツツジ、チシマザサ、ノギラン、ツルリンドウ、オオカメノキ、コシノカンアオイ、トリアシショウマ、サラシナショウマ、クルマバハグマ、ツクバネソウ、タガ

御宝木の溪谷（標高約 800m）

ウド、ヤグルマソウ、シラネアオイ、イワウチワ、オオイワカガミ、トリアシショウマ、チシマザサ、オオバクロモジ、ユキグニミツバツツジ、ヤマソテツ、シシガシラ、コシアブラ、イヌガンソク、エゾアジサイ、ヒメウスノキ、ホツツジ、ウラジロヨウラク、ダイモンジソウ、スミレサイシン、ヨロイグサ、

参加されて植物に親しむ仲間が大勢になると良いと思いました。ご一緒させて頂いた方々からいろいろな事を教えて頂き感謝しております。案内の高橋先生には、心からお礼申し上げます。

ネソウ、ヤグルマソウ（ゴハ）、ヤマソテツ、オオバクロモジ、ウワバミソウ、アズキナシ、タムシバ、イワナシ、ハンショウズツル、ヤマハナワラビ、サカゲイノデ、キジムシロ、タラノキなど。ササユリやシラネアオイの株がたくさん抜かれていて残念である。

ショウジョウバカマ、オクノカンスゲ？、ヤマモミジ、ブナ、アカソ、サラシナショウマ、ツタウルシ、ジュウモンジシダ、オオバボダイジュ、ウワバミソウ、ナンブアザミ、アラゲトチノキ、ヒロハカツラ、アズマシャクナゲなど。